

## 8-3-1 企画委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 委員会の開催

委員会開催回数:8回(3月中止)

#### (2) 委員会の構成

当委員会の構成は、次に示す通り3つの専門委員会と5つのWGで構成されている。詳細な活動内容については専門委員会・WGの年報を参照されたい。

- ・登録・法制度専門委員会
- ・美しい国づくり専門委員会
- ・契約のあり方専門委員会
- ・建設コンサルタントの新たな役割検討WG
- ・報酬のあり方検討WG
- ・持続可能な社会構築検討WG
- ・損害賠償責任検討WG(2019年12月設置)
- ・資格制度等検討WG(2019年12月設置)

#### (3) 委員会の活動

##### a) 企画委員会

各専門委員会・WGの提案について審議・検討し、企画部会及び常任委員会に上申した。

##### b) 登録・法制度専門委員会

47都道府県及び20政令指定都市の登録制度活用状況をHP等で調査し、全ての自治体で何らかの形で登録制度を活用していることがわかった。また、法制化については、業法、資格法に関する過去の検討成果を再整理し、2019年12月に新設された資格制度等検討WGへ整理結果を提供した。

##### c) 美しい国づくり専門委員会

JCCA・JIA合同WGにおいて、企画・調査・設計・監理全般を対象に多様な社会環境に応じた協働の在り方について議論した。また、2019年10月18日に第12回JCCA/JIA協働シンポジウム「協働が生み出す近未来のdesign」を弘前市で開催した。

##### d) 契約のあり方専門委員会

民法改正を契機とした公共土木設計業務等標準委託契約約款の改正へ向けて国土交通省

との意見交換を行い、2020年1月21日に提示された約款改正案に対して2度の修正要望を提示した。また、大森弁護士を講師に迎え契約のあり方講習会を6支部で開催した。さらに、土木建造物の銘板への設計技術者名の記載の取り組みについて現状調査を行い、取り組みの要望案を企画部会及び常任委員会へ提案した。

##### e) 建設コンサルタントの新たな役割検討WG

世界及び日本の未来予想を文献等より整理し、今後の社会資本に関するニーズ、社会資本整備のあり方及び建設コンサルタントの新たな役割について議論を行った。

##### f) 報酬のあり方検討WG

現状の報酬制度の課題を整理し、業務難易度に応じた業務価格の設定、技術提案内容に応じた価格交渉力の向上、及び計画設計成果による総事業費の縮減に対する成功報酬について議論を行った。

##### g) 持続可能な社会構築検討WG

今後の建設コンサルタンツ協会の各委員会の活動計画を立案する際にSDGs17ゴールを視野に入れること、SDGsに関する広報活動を行うことを企画部会及び常任委員会に提案した。

##### h) 損害賠償責任検討WG

2020年1月16日に第1回WGを開催し、中間とりまとめ結果を4月13日の会長報告会にて報告した。

##### i) 資格制度等検討WG

2020年1月16日に第1回WGを開催し、中間とりまとめ結果を4月10日の会長報告会にて報告した。

### 2. 次年度の活動について

協会内の関連委員会と連携を強化し、今年度の活動を継続的に実施する。また、2019年12月に新設した2つのWGの提言書を6月末までに完成する予定である。

(企画委員会委員長 天野 光歩)